

スナップえんどう栽培暦

1・スナップえんどうの特性

- ・「スナック」と「グリーンピース」の交雑代の中から、選抜固定したものである。
 - ・草丈は露地秋まき栽培で180cm前後、莢はやや大きく、実がよくふくらむので丸みをもちます。

2・土地の選定

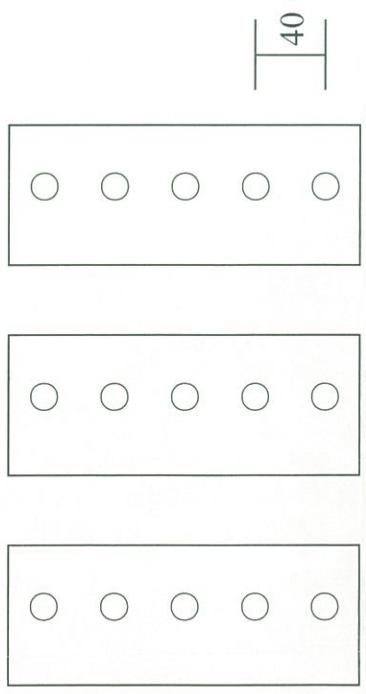
- ・耕土が深く、排水や保水性の良い地力のある圃場を選ぶ。一度えんどうを栽培している圃場は、3～4年は休む方がよい。
・酸性土、排水不良地には不適で、また乾燥地ではつるの伸びが悪く収量が上がらないので避ける。

3・品種と種期について

品種は種期「スナック753」サカタのタネ
11月1日以降、年内に株が大きくなりすぎると寒害を受けやすいので草丈10cm程度の小苗で越冬させる。(種は水に浸さないことに注意する。)

卷之二

2粒は種1～2本立てにする。(株間40～60cm)
は種時にアドマイヤー1粒剤を土壤混和する。
|—120cm—+—120cm—+—120cm—|



高畦にし95cmの黒マルチを使用する。

●追肥の時期

- ・花が咲き始めてから数回に分け施用して生育を旺盛にし収量を上げる。追肥は、株と株の間に穴を開け施用。
・着芽維持及び傷果防止：着芽開始頃からスルリット青600倍十カルタス1000倍を10日おきに裏面散布する。

C : 教育管理

灌水

- マルナ栽培では根が浅く広がります。灌水は少量で回数を多く行います。地中深く広がります。(少量多灌水)その為、僅かな乾燥でも草勢が落ち品質・収量の低下がせん。

て間引く。風通しを良

穫
收

- 熟期が通時涼やすいの収穫する。サヤがさくと露が付着している状態)は、サヤがさくと品質低下が著しくなると植物は回復するので、回復後に収穫する。



- ・きゅうりネット180cmをたてに貼る。良い。

●出荷規格（主婦當農班專用）

- 100g袋詰め(風袋込110g)を入れる。
袋に専用シールを必ず貼る。
30入りダンボール(1パックから出荷可能)